

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 311 (通算 641 回)

2015 年 12 月 21 日 (月)

リスク分析と対応シナリオ——

海外研修・留学時の危機管理の展開 II

～増大するプログラム／事故・犯罪・災害・感染症対策の方策と実際～


- ※ 危機管理体制と現実のギャップ／派遣留学の法的側面と協定書のポイント／JCSOS の活動
- ※ 現地大学生との多彩な交流・共学／事前準備学習と異文化対応力／短期集中英語教育の実際
- ※ [大阪女学院大] 体制導入後の 6 年間の歩みと対応事例／受け入れ大学・旅行会社との協働体制
- ※ [愛媛大] 「世界展開力強化事業」の派遣事前授業／危機管理事例／危機管理シミュレーション
- ※ [東洋大] 危機管理の現状と必要性／記者会見シミュレーションの実際／組織ナレッジとしての共有

● 講師陣 ●

池野 健一 氏 / NPO 法人 海外留学生安全対策協議会 (JCSOS) 理事長
 小野 博 氏 / 福岡大学・昭和大学 客員教授 グローバル人材育成教育学会 会長
 元辻小代子 氏 / 大阪女学院大学 国際交流センター
 大上 博基 氏 / (国)愛媛大学 学長特別補佐 (国際連携担当) 教授 国際連携推進機構 副機構長
 榊原 康貴 氏 / 東洋大学 総務部 広報課 課長

企画協力：海外留学生安全対策協議会 <http://www.jcsos.org/>

2015 年 12 月 21 日 (月) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

 地域科学研究会
 高等教育情報センター

日 時：2015 年 12 月 21 日 (月) 10:00～16:40
 会 場：剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362
 アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷
 駅」麹町口より徒歩 10 分

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、
 FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 口座名 <(株)地域科学研究会 >
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
 代えさせていただきます。

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となり
 ますので、必ずご確認ください。
 参加費：A. ご一名 (資料代込) 43,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)
 44,000 円 (送料、消費税込)
 C. 高等教育同人 (☆) 22,000 円 (消費税込)
 ※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、
 開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。
 ※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、
 特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪い
 ときには代理の方がご出席ください。
 ☆高等教育計画経営研究所同人は Kkj の HP でご確認
 願います。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

☆ ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 311

2015 年 月 日

海外研修・留学時の危機管理の展開 II

(□に✓印を) □当日参加 □メディア参加
 支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込
 必要書類 □請求書 □見積書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目 (改訂があり次第HPへ公開)
10:00 } 11:20	<p>□ 派遣留学生のための大学の危機管理</p> <p style="text-align: right;">JCSOS 池野 健一</p> <p>1. 大学における危機管理体制の構築</p> <p>(1) これまでの派遣留学における危機管理 (2) 管理体制と現実のギャップ</p> <p>(3) 大学に課せられている法的義務 (4) 事故事例</p> <p>2. 現行の派遣留学の法的側面</p> <p>(1) 旅行業法について (2) 留学業者、ボランティア団体</p> <p>(3) 協定書のポイント (4) 事故事例</p> <p>3. JCSOS の活動</p> <p>(1) 加盟校の推移 (2) 危機管理セミナー、シミュレーション</p> <p>(3) JCSOS 危機管理システム (4) データに見る派遣留学の動向 (質疑応答)</p>
11:30 } 12:30	<p>□ 危機管理の視点から見た海外派遣事例と重要な事前準備学習</p> <p>～安全で大きな成果が期待できる現地の学生との交流を第一に～</p> <p style="text-align: right;">福岡大学・昭和大学 小野 博</p> <p>1. グローバル人材の育成と海外活動</p> <p>(1) 大学を中心とした活動・教員の活躍の場 (2) サマースクールの短期留学</p> <p>(3) 現地の大学生とのワークショップの実施 (4) 現地の大学生と一緒にインターンシップ</p> <p>(5) 現地の大学生とのボランティア活動</p> <p>2. 事前準備学習の重要性と学習内容</p> <p>(1) 海外に行きたがらない学生の本音 (2) コミュニケーション能力の育成</p> <p>(3) 異文化対応力育成 (4) 英語教育をどうするか</p> <p>(5) 国内でもできる海外体験準備学習とは</p> <p>3. 教養英語と別組織、別スタッフ、別プログラムによる英語教育</p> <p>(1) 教養英語はグローバル人材育成の役立つのか、改革は進むのか</p> <p>(2) ステップアップ方式 (3) 短期集中型英語教育</p> <p>(4) 進화가進む e-learning 教材 (質疑応答)</p>
13:20 } 14:20	<p>□ [大阪女学院大] 大学・短期大学の海外プログラムにおける危機管理の運用</p> <p>～0からのスタート/体制導入後の6年間の歩みと今後の課題～</p> <p style="text-align: right;">大阪女学院大学 元辻小代子</p> <p>1. 危機管理体制の導入のきっかけ</p> <p>(1) 多彩な海外プログラム (2) 導入のきっかけになった出来事</p> <p>2. 大阪女学院の危機管理について</p> <p>(1) 本学の危機管理体制について (2) 学生への意識づけ</p> <p>(3) 全教職員の意識を高めるために</p> <p>(4) 海外プログラムにかかわる受け入れ先大学、旅行会社や団体との協力体制</p> <p>3. 危機管理を導入してからの6年間</p> <p>(1) さまざまな危機を経験して～課題とその改善策 (2) 本学対応事例(保護者対応など) (質疑応答)</p>
14:30 } 15:30	<p>□ [愛媛大] 海外渡航時の危機管理への取組み</p> <p>～「大学の世界展開力強化事業」における危機管理と事例/危機管理シミュレーション～</p> <p style="text-align: right;">愛媛大学 大上 博基</p> <p>1. 「大学の世界展開力強化事業」における危機管理体制</p> <p>(1) 事業における愛媛大学のプログラム概略</p> <p>(2) 派遣にあたっての事前授業 (3) 本プログラムにおける危機管理体制</p> <p>2. 「大学の世界展開力強化事業」における危機管理の事例</p> <p>(1) 本プログラムにおける危機管理の事例 (2) 危機管理事例に対する振り返り</p> <p>(3) 本プログラムにおける危機管理の課題</p> <p>3. 危機管理シミュレーション～JCSOS のサポートによる</p> <p>(1) 危機管理シミュレーションの概要 (2) シミュレーションの結果と効果</p> <p>(3) 本学における危機管理体制の課題 (質疑応答)</p>
15:40 } 16:40	<p>□ [東洋大] 海外事例を想定した危機管理の実例</p> <p>～記者会見シミュレーションから見た課題～</p> <p style="text-align: right;">東洋大学 榎原 康貴</p> <p>1. 危機管理の必要性</p> <p>(1) 大学の危機管理の現状 (2) 大学不祥事の実例</p> <p>(3) 学生不祥事の傾向 (4) 世間の受け止め方・インパクト</p> <p>2. 記者会見シミュレーションの実際</p> <p>(1) 想定される事例と発生の可能性</p> <p>(2) 映像による共有 (3) 準備・実施・フィードバック</p> <p>3. 記者会見シミュレーションからの知見</p> <p>(1) 組織的ナレッジとしての経験の共有 (2) 体制よりも態勢作り</p> <p>(3) これから必要になる危機管理は？ (4) 何から守るか？何を守るか？ (質疑応答)</p>